

2021年4月26日

2020年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 立川ユネスコ協会

代表者・役職名 氏名 会長 清水貞樹

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

立川における「ユネスコ活動」の推進

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

立川市の有志4人で、2014年11月に「立川ユネスコ協会設立発起人会」を発足しました。その後2年あまりかけて、2016年7月に「立川ユネスコを考える会」を設立し、ユネスコ活動の夢を語り合うとともにユネスコカフェなどの活動を推進しました。それと並行して「日本ユネスコ協会連盟」の指導助言を頂き、2018年5月に加入認定されました。また、立川ユネスコスクール(東京賢治シュタイナー学校)・国立音楽大学・玉川上水ネット・多文化共生センター・日本ネパール友好協会などと連携しつつ活動を広げ・推進しています。現在の会員数:34名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

UNESCO憲章前文の「戦争は、人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」の精神をベースに、教育・科学・文化を通して世界平和を進め、自由で平等な差別のない社会の実現をめざし、立川地域での活動を展開して行きます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

ユネスコ憲章に示されたユネスコ精神を立川の地域で展開して行くため、2020年度では下記の活動を推進して行くことしていましたが、コロナ禍による影響で2020年9月に開催回数などについて計画変更しました。*変更回数などを[]内に記述。

- ・ユネスコカフェ開催 : 身近なテーマから地球の平和を考えるカフェを開催 [2回→1回]
- ・平和の心コンサート : 音楽の美しさ、楽しさを通し、平和の心を発信する [1回→0回]
- ・国際交流(ネパール) : ネパールとのネット国際交流を開催し、教育を中心に考えて行く [4回→1回]
- ・国際交流(立川市内) : 立川市内在住の外国の方々との交流・支援を推進する [1回→0回]
- ・地域遺産保全(1) : 玉川上水・分水の観察会の開催 [1回→0回]
- ・地域遺産保全(2) : 柴崎分水の水を使った立川最期の田んぼの保全支援 [2回→1回]
- ・ユネスコたより発行 : 立川ユネスコたよりの発行 [2回→2回]
- ・世界寺子屋運動 : 「募金活動」、「書きそんじハガキ回収活動」の推進 [継続]

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

4項の記述した様に、2020年9月に計画変更を行いました。結果的に年度末までコロナ禍の影響が続き、「立川ユネスコたより」の発行以外に活動を実施することが出来ませんでした。次年度は、コロナ禍が終息することを祈りつつ、立川市内の関連団体との交流、参加者の加入促進など立川地域でのユネスコ活動の浸透を改めて推進して行きたいと考えています。

- ・ユネスコカフェ開催 : 0回
- ・平和の心コンサート : 0回
- ・地域の遺産保全 : 0回
- ・国際交流 : 0回(ネパールの学校とネット(Skype)による交流会の実施を準備中)
- ・ユネスコたより発行 : 1回(立川ユネスコたより「第5号」を発行)
- ・世界寺子屋運動 : 実質的に活動無し(「募金活動・書きそんじハガキ回収活動」)

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

2020年度は、コロナ禍の影響で残念ながら計画通りの活動を実施することが出来ませんでした。2021度は社会情勢をみつつコロナ禍が終息することを祈りながら、2020年度中止などにした各活動を下記の様な想いから開催・推進して行きたいと思いをします。

- ・2021年度で、「日本ユネスコ協会連盟」に加入認定されてから4年目になり、日本ユネスコ協会連盟・東京都ユネスコ連盟を始めとした先輩のユネスコ協会との連携が出来てきました。今年度は、コロナの終息を祈りつつ、更に有効な活動を、模索・展開して行きたいと思いをします。
- ・今までの活動の中で、立川市教育委員会・立川市地域文化振興財団や立川市内の各団体(国立音楽大学・東京賢治シュタイナー学校・多文化共生センター・市民活動センターたちかわ等)とのパイプが出来てきました。今後も、上手く連携した活動をして行くとともに、更に連携する団体を広げて行きたいと思いをします。
- ・「平和の心コンサート」などの開催に当たって、時期によって集客に良い会場の確保が難しい状況にあります。コロナの影響をみつつ、早期の方針策定や関連団体との連携も含めて対応して行きたいと思いをします。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

身近な地域から平和を考える【第5回立川ユネスコカフェ】

ネパールを知って 教育支援・ユネスコの役割などを みんなで語り合おう

※「ユネスコカフェ」とは…

話題提供者のお話を聞くだけでなく、テーブルを囲みながら気軽に質問や意見交換できる交流の場です。



※今回の話題

1. ネパールの状況をお聞きして… まず、ネパールのことを知ろう…
2. そして、ネパールの教育の状況は…?? 日本との違いは…??
 - ▣日本との違いなどを意見交換しよう… 「世界寺子屋運動」の反映は…??
3. 日本の役割・ユネスコの役割は…??
 - ▣どのような支援活動をやっているのか…?? 何をやればよいのか…??

※話題提供者：マダブ プラサド セダインさん

(日本ネパール友好協会理事・経済博士・立川ユネスコ協会会員)

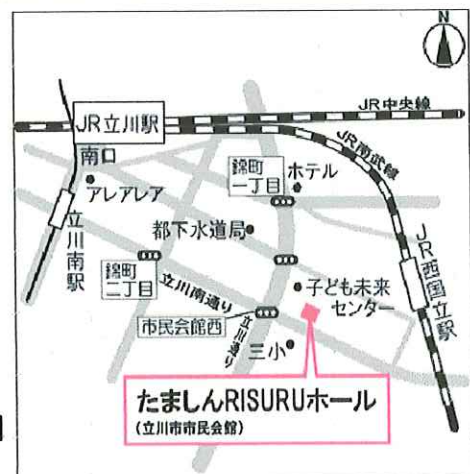
◎日 時 2020年2月11日(火)午後2時～4時

◎場 所 たましんRISURUホール(第2会議室)

◎申 込 清水貞樹 FAX 042-546-1152
Email tachiunesco@yahoo.co.jp

◎参加費 500円(お菓子代・資料代など)
*飲物をご持参ください

◎定 員 25名 [2020年度 真如苑助成事業]



主催 立川ユネスコ協会

立川ユネスコだより

発行責任者 清水貞樹
立川ユネスコ協会
立川市羽衣町 2-65-14
042-529-1846
tachiunesco@yahoo.co.jp
2020年2月第4号

ユネスコ活動の未来

清水 貞樹

令和の時代も、早いもので2年目を迎え、国内では平和と豊かさの中で互いをより思いやる心が養われてきました。一方、世界では紛争や難民、貧困と差別に苦しみ、命の危険にさらさらされている人々がいる実態があります。そうした格差のある世界に追い打ちをかけるように先進国の二酸化炭素の排出による地球温暖化が人類全体の大きな課題として迫っています。ユネスコでは世界平和をめざし様々な活動をしてはいますが、さらに今、私たちの未来に対しこの問題を真摯にとらえ、何を行動していくべきか考える時であると思います。

平和の心コンサートによせて

田ヶ谷 省三



第1回の弦楽器による「珠玉の名曲プログラム」に続き、今回は「木管楽器の魅力」と題し、木管楽器の中でもソロを受け持つことの多いフルートとクラリネットのプログラムで演奏会を行うことができました。これもひとえに国立音楽大学演奏センター、立川市地域文化振興財団など、たくさんの方々のご協力やご後

援ご協賛の賜です。また、アールブリュット作家として活躍されている玉川宗則さんの作品も併設展示できました。改めて皆様に感謝いたします。

さて前回、日本の曲が好評でしたので『春の海』を、またジャズのフィーリングに富んだ傑作『ラブソディ・イン・ブルー』をプログラムに取り入れました。私たちの心に沁み入る美しい日本の旋律美をフルートの秋元さんは芳醇な音色で繊細に美しく奏で、『ラブソディ〜』では、オーケストラの多彩な音を圧縮したジャズ風ピアノ伴奏の井出さんの熱演、自由奔放に唸り叫び、時に軽やかなステップを踏む粟谷さんのクラリネットなど、すばらしい演奏でした。前半のソロに続くクラリネットの後半は山田さんとの2重奏、2つの音色の溶け合いがお客様を魅了。木管楽器の魅力を十分に堪能されたと思います。休憩後には、会長がユネスコの活動を映像で紹介し、募金や書きそんじハガキ等への協力をお願いしました。



<インタビューコーナー>では、MCの志村さんによる3つの質問。

- ①どんなきっかけでクラシックをやることになったのか？
- ②クラシック以外で好きな音楽は？
- ③お金の心配がないとすれば世界中のどこでどんな曲を演奏したいか？

ここでは、紙面の関係で③の回答をまとめます。出演者の多様な素顔にふれることが出来、コンサートの“もう一つの楽しみ”になったことと思います。

●リサイタルを2度やっていてお金がかかると知っている。お金の心配がいらぬなら、世界中の著名なホールを借りて一流ピアニストの伴奏でコンサートを開きたい。●娘も皆さんも若いが私はもう若くはない。最近、家庭の事情もあり介護の勉強をしている。お年寄りたちが昔の曲や昔の歌を口ずさむ時など、私のピアノで喜んでもらいたい。●クラリネットは歴史の浅い楽器、ウィーンに行ってモーツァルトや、18世紀の音楽を当時の楽器で演奏してみたい。●音楽がネットでいつでも聴ける時代だがそんな地域ばかりではない。音楽が

広まっていない地域で、子どもたちと楽器の触れ合いなどを通して音楽の魅力を伝えたい。

●例えば、スイスなどの山頂でピアノを弾くとか、誰もしたことのないことをやってみよう。

多くの皆様のご支援、ご協力を賜り2年目でしたが、大変楽しい演奏会となりました。心より御礼申し上げます。

ユネスコカフェを終わって マダブ・プラサド・セダイン

～ネパールを知って 教育支援・ユネスコの役割などを みんなで語り合おう～



2019年8月に、はじめて「第4回ユネスコカフェ」に参加させて頂いたことによって、ユネスコは世界遺産を保護するための登録機関というイメージを一変し、教育においても偉大な貢献をしていることを認識しました。識字率およそ70%のネパールです。寺子屋は読み書きができない人にとって、非常に意義ある活動だと思います。

ユネスコを通じて行っている募金活動や書きそんじハガキキャンペーンといった活動は同じ地球の遠い地域の人たちの

自分の夢を叶えるためのプロジェクトにつながっています。

ネパールの教育制度（プライベートスクール（私学）とパブリックスクール（公立）の教育の違い）について、皆さんから質問がありました。プライベートスクールはパブリックスクールに比べ学費が高く、同時に教育レベルも高いと言われています。また、経済的な理由で学校に行けない子どもたちも多くいます。

最近の世界情勢は、ヒト・モノ・カネの流れがグローバル化し、多文化の理解も重要になってきました。そのため、学校や大学の学生も高い学費を払い、短期留学するなど異文化に振れ合うことがあります。しかし、インターネットの普及により本国にしながら外国のことを学べることも可能になりました。その試みとしてネパールの高等学校「ヌワコート郡のシリー・スルヤマティ高等教育学校」と立川ユネスコ協会と2020年1月24日にインターネットを通じて現地校の教員・スタッフと交流を行いました。来年度からは定期的に現地の子どもの含めた交流・授業を行なっていきたいと思っています。

「第5回ユネスコカフェ」に話題提供者として皆さんと交流できたことがうれしく充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

全国大会 in 東京

清水 貞樹

昨年の9月7日（土）と9月8日（日）の両日、第75回日本ユネスコ運動全国大会が東京の豊島区立目白小学校で全国から900名の会員が参加し開催されました。テーマは1日目「世界寺子屋運動」と2日目「共生社会を創る」でした。基調講演はドイツのウルリケ・ハネマン博士の示唆に富んだお話があり、海外のパネラーからの識字教育の実態も報告され充実した機会となりました。来年度は7月4日（土）山口県宇部市で実施されます。

関東ブロック・ユネスコ活動研究会に参加して 広瀬 俊夫

2019年度研究会は、埼玉県蓮田・白岡市で10月5日（土）～6日（日）で開催されました。「ひろげよう平和の心—平和な社会をめざし共に学び、共に語ろう」のテーマのもと、1都5県47か所の協会が参加しました。各協会の独自の活動と行政との連携が大変参考になりました。当協会も行政との連携を図り活動の輪（和）を広げていきたいと考えを深めました。2020年度は、10月24日（土）群馬県高崎市の予定です。



立川ユネスコだより

発行責任者 清水貞樹
立川ユネスコ協会
立川市羽衣町2-65-14
042-529-1846
tachiunesco@yahoo.co.jp



コロナ禍のユネスコ活動

立川ユネスコ協会 会長 清水貞樹

会員の皆様、コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。人は人生で様々な困難や試練を受け、そのことで学び成長していくものだと思います。人類もまた、戦争や地球温暖化に、そして今、新型コロナウイルス感染症との闘いに直面しています。でも、そのことから様々な知恵を出し合い、新しい生活の仕方と生き方を学び発見していくことができると思います。自粛や不自由さの中でも前向きに考え、力を合わせて新しいあり方を見出していきたいと思います。

立川ユネスコ協会では、今のところ終息するまでは、人が集まる活動は感染防止のため中止していますが、組織を維持するための活動は、理事を中心に電話やメールで継続しています。今年の5月の定期総会は開催できませんでしたが、全ての会員の皆様のご協力をいただき、総会の議案書をお送りすることで会員数の5割以上の承認があり、規定通り承認されましたのでご報告いたします。また、会費納入につきましてもご協力いただきまして大変ありがとうございました。本会は、日本ユネスコ協会連盟、東京都ユネスコ連絡協議会にも所属し、会員としての会費の納入も進めているところです。

ところで、今年度より、「玉川上水ネット」に加盟いたしましたので、改めてご報告いたします。新型コロナウイルス感染症の終息後の活動再開を心待ちしております。今後共、よろしくお願い申し上げます。

「立川ユネスコ協会」のあゆみ

2017. 10. 24～2020. 3. 31

ユネスコカフェ

○ユネスコ活動の広報と研修を目的とした
談話サロン。

第3回ユネスコカフェ

「玉川上水と分水網とわたくしたち」

・2018年10月12日(金)18:30・柴崎学習館

話題提供者：

萩本悦久氏

(玉川上水の自然保護を考える会 事務局長)



話題提供者に萩本悦久氏(右)

第1回ユネスコカフェ

「ユネスコの世界遺産を語り合いましょう」

・2017年10月24日(火)18:30・柴崎学習館

話題提供者：岡田茂氏(元・日本ユネスコ協会連盟事務局長・理事)

第5回ユネスコカフェ

「ネパールを知って、教育支援・ユネスコの役割などを、みんなで語り合おう」

・2020年2月11日(火)14:00・RISURUホール

話題提供者：マダブプラサドセデザイン氏
(日本ネパール友好協会理事)

平和の心コンサート

○音楽の美しさ、楽しさを通し、平和の心を発信するために。

第1回平和の心コンサート

「珠玉の名曲アルバム」弦楽器とピアノ

出演：国立音楽大学 伊藤みや乃（ヴァイオリン）・鈴木佳都紗（チェロ）・杉森繪里（ピアノ）

日時：2019年3月23日（土）14:00

会場：立川市柴崎学習館 ホール



バイオリンソロ

第2回平和の心コンサート

「木管楽器の魅力」フルート・クラリネット名曲演奏と、クラリネット二重奏

出演：国立音楽大学 秋元 希（フルート）・粟谷明菜（クラリネット）・山田真悠子（クラリネット）・井出真奈美（ピアノ）、秋元京子（ピアノ）

日時：2019年12月1日（日）14:00

会場：立川市錦学習館 講堂



コンサートに多くの方が参加

歴史遺産

○玉川上水・分水網関連遺構の保全。

「がにがら田んぼ」

玉川上水は、承応2年（1653年）に開削され、元文2年（1737年）砂川村・柴崎村を通る柴崎分水が開削。現在柴崎分水の水利権をもつ「がにがら田んぼ」が、立川市内に残る唯一の田んぼである。現在、生涯学習センターの高松学習館が主催し、市内の子どもたちを対象に、田植え、稲刈り等を体験学習しています。



がにがら田んぼで、親子で田植えを体験

国際交流

○世界の人々と相互理解を深め、平和で偏見や差別のない共生社会を目指して。

ネット国際交流会（ネパール）

ネパールの学校とSkypeでネット交流会を開催。ネパールと日本の教育について意見交換を実施。今後子どもも含めた交流会を模索中。

日時：2020年1月24日（金） 参加者：ネパール（約10名）・日本（5名）



ネパールとネットで交流

ユネスコ世界寺子屋運動

○すべての人に教育を。世界の貧困を断ち切り、自立を目指して。

日本ユネスコ協会連盟の進める「世界寺子屋運動」の2019年度「募金活動」、「書きそんじハガキ回収キャンペーン」では、「募金額」16,516円、「書きそんじハガキ回収キャンペーン」17,112円、合計33,628円になりました。

◆「玉川上水ネット」（目的：玉川上水・分水網の豊かな自然環境と景観、及び生物多様性の保全。22団体・6個人）に、令和2年度より、立川ユネスコ協会が団体加盟しました。